

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月02日

計画の名称	寒川町における防災並びに減災対策に係わる計画（第2期）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	寒川町												
計画の目標	公共下水道（雨水）整備により安全・安心・快適な住環境を実現する。 南海トラフ巨大地震や首都直下型地震等の大災害に備え、緊急輸送路や軌道下等の重要な管渠の耐震化及び下水道施設の老朽化対策や事前防災・減災対策等を一体的、総合的に実施する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	673	A	627	B	0	C	46	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	6.83	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	雨水整備達成率を72.9%（H28）から73.7%（R2）に増加させる。 雨水整備済み積率 雨水整備済み面積（ha） / 下水道事業計画（雨水）区域面積（ha）	73%	73%	74%
2	— 耐震化対策計画策定率 耐震化対策計画策定管路延長（km） / 耐震化対策計画対象管路延長（km）	10%	10%	21%
3	重要な管渠の耐震化達成率を7.9%（H28）から20.5%（R2）に増加させる。 耐震化対策実施率 耐震化対策管路延長（km） / 耐震化対策対象管路延長（km）	8%	13%	21%
4	— 長寿命化対策計画策定率 長寿命化対策計画策定延長（km） / 長寿命化対策が必要な管路延長（km）	0%	2%	2%
5	下水道施設の状況を把握し施設の長寿命化達成率を0.03%（H28）から0.24%（R2）に増加させる。 長寿命化対策済み施設延長率 長寿命化対策済み施設延長（km） / 長寿命化対策が必要な管路延長（km）	0%	1%	2%
6	既存ストックの有効利用を考慮した浸水シミュレーションを活用し浸水対策の検討を0%（H28）から4%（R2）に増加させる。 浸水対策の検討箇所率 浸水対策を検討した面積（ha） / 全体計画面積（ha）	0%	4%	4%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	寒川町	直接	-	管渠（雨水）	新設	小動幹線（浸水対策）(A1-1)	L=0.154km	寒川町	■	■	■	■	■	279	-	
	A07-002	下水道	一般	寒川町	直接	-	管渠（雨水）	新設	大曲幹線（浸水対策）(A1-2)	L=0.85km	寒川町		■	■	■	■	161	-	
	A07-003	下水道	一般	寒川町	直接	-	-	改築	耐震化対策計画策定事業(A1-3)	調査・計画策定	寒川町					■	3	策定済	
	A07-004	下水道	一般	寒川町	直接	-	-	改築	耐震化対策事業(A1-4)	管更生等耐震化（重要な管渠）	寒川町	■	■				8	策定済	
	A07-005	下水道	一般	寒川町	直接	-	-	改築	耐震化対策事業(A1-4)	管更生等耐震化（重要な管渠）	寒川町				■	■	59	策定中	
	A07-006	下水道	一般	寒川町	直接	-	-	改築	長寿命化対策計画策定事業(A1-5)	調査・計画策定	寒川町		■				8	策定中	
	A07-007	下水道	一般	寒川町	直接	-	-	改築	長寿命化対策事業(A1-6)	改築更新等長寿命化	寒川町			■	■	■	71	策定中	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-008	下水道	一般	寒川町	直接	-	管渠（ 雨水）	—	浸水シミュレーション(A1 -7)	浸水シミュレーション	寒川町					■		19	策定中	
	A07-009	下水道	一般	寒川町	直接	寒川町	管渠（ 雨水）	—	雨水総合管理計画策定事 業(A1-8)	雨水総合管理計画策定	寒川町						■		19	策定中
											小計							627		
											合計								627	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	寒川町	直接	-	-	改築	下水道業務継続計画策定(C1-3)	下水道業務継続計画策定	寒川町				■			3	策定中
		下水道業務継続計画を策定することにより、震災等の発生時における公共水域の保全及び汚水処理の継続的な処理が可能となる。																	
	C07-002	下水道	一般	寒川町	直接	-	-	改築	長寿命化対策事業(C1-6)	改築更新等長寿命化	寒川町				■	■		43	策定中
		基幹事業である長寿命化対策と一体的に行うことにより、管路施設の長寿命化を図る。																	
	C07-003	下水道	一般	寒川町	直接	-	管渠（雨水）	-	内水ハザードマップ(C1-7)	内水ハザードマップ	寒川町				■			0	策定中
		浸水シミュレーション事業のデータを利用することで内水ハザードマップを作成することが可能となる。																	
											小計							46	
											合計							46	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>寒川町下水道運営審議会で実施する。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和3年度</p> <p>公表の方法</p> <p>町のホームページに掲載予定</p>
---	---

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水幹線枝の整備は、0.163kmの整備が進み、浸水箇所の軽減に貢献できた。 ・耐震化計画策定は、今後5カ年で耐震化工事を施工可能な範囲として、特に優先度の高い管路44kmについて計画策定し、耐震化対策に貢献できた。 ・耐震化対策事業は、計画延長1.84kmに対し、0.35kmの耐震化工事を進めることができ、耐震化対策に貢献できた。 ・長寿命化計画策定は、今後5カ年で長寿命化工事を施工可能な範囲として、特に緊急度の高い管路3.97kmについて計画策定し、長寿命化対策に貢献できた。 ・長寿命化対策事業は、計画延長153.06kmに対し、0.16kmの長寿命化工事を進めることができ、長寿命化対策に貢献できた。 ・浸水対策は、全体計画面積923.35haに対し、浸水被害の多い34.14haを優先的に検討する区域に設定し、浸水対策に貢献できた。 ・雨水管理総合計画策定は、全体計画面積923.35haに対し、全域における計画を策定し、雨水計画策定に貢献できた。
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道業務継続計画の策定により、公共水域の保全及び汚水処理の継続的な処理に貢献できた。 ・基幹事業である長寿命化対策と一体的に行うことにより、管路施設の長寿命化に貢献できた。 ・内水ハザードマップの作成により、雨水管理総合計画策定に貢献できた。

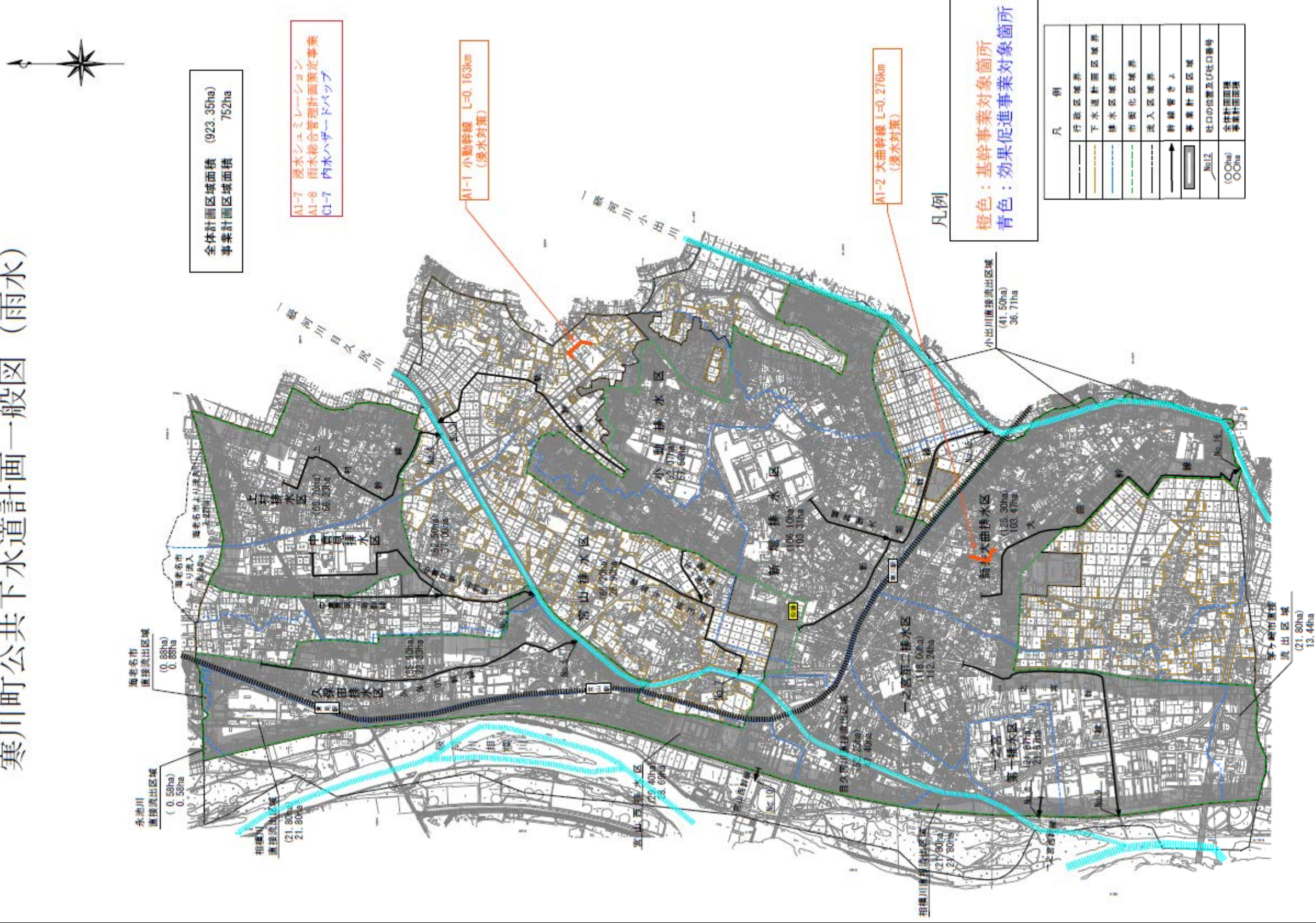
○特記事項（今後の方針等）

財政状況の厳しい中、公共水域の保全及び町民の生命・財産を守るため、浸水対策、長寿命化対策、耐震化対策事業について優先順位を付け、継続的に事業を実施します。長寿命化対策事業は、ストックマネジメント支援制度へ移行されています。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	雨水整備達成率を72.9%（H28）から73.7%（R2）に増加させる。		
	最終目標値	74%	雨水函渠整備を0.154kmに対し、0.163kmの整備となったが、田端西地区（A=24ha）の事業計画拡大に伴い、目標値より少ない実績となった。
	最終実績値	71%	
今後5カ年で施工可能な範囲において耐震化対策計画を策定する。			
2	最終目標値	21%	全管路延長197.06kmに対して、今後5カ年で耐震化工事を施工可能な範囲として、特に優先度の高い管路44kmの計画策定をすることができた。
	最終実績値	22%	
	重要な管渠の耐震化達成率を7.9%（H28）から20.5%（R2）に増加させる。		
3	最終目標値	21%	耐震化対策工事延長1.84kmに対し、0.35kmの耐震化工事を進めることができたが、事業費や発注時期の関係により目標値より少ない実績となった。
	最終実績値	19%	
	今後5カ年で施工可能な範囲において長寿命化対策計画を策定する。		
4	最終目標値	2%	全管路延長197.06kmに対し、今後5カ年で長寿命化工事を施工可能な範囲として、特に緊急度の高い管路3.97kmの計画策定をすることができた。
	最終実績値	2%	
	下水道施設の状況を把握し施設の長寿命化達成率を0.03%（H28）から0.24%（R2）に増加させる。		
5	最終目標値	2‰	長寿命化計画延長153.06kmに対し、0.16kmの長寿命化工事を進めることができたが、事業費や発注時期の関係により目標値より少ない実績となった。
	最終実績値	1‰	

計画の名称	寒川町における防災並びに減災対策に係わる計画（第2期）		1/2
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）	交付対象	寒川町

寒川町公共下水道計画一般図（雨水）



全体計画区域面積 (923.35ha)
 事業計画区域面積 752ha

AI-7 浸水シミュレーション
 AI-8 雨水総合管理計画策定事業
 CI-7 内水ハザードマップ

AI-1 小動幹線 L=0.163km
 (浸水対策)

AI-2 大曲幹線 L=0.276km
 (浸水対策)

凡例
 橙色：基幹事業対象箇所
 青色：効果促進事業対象箇所

凡例	
	行政区境界
	下水道計画区域境界
	排水区域境界
	市街化区域境界
	流入区域境界
	幹線向き
	事業計画区域
	吐口の位置及び吐口番号
	全体計画区域 事業計画区域

計画の名称	寒川町における防災並びに減災対策に係わる計画（第2期）		2/2
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）	交付対象	寒川町

寒川町公共下水道計画一般図（汚水）

